

2023 年世界人身取引に反対する祈りと啓発の日（2月8日）

晩の祈り

「人身取引に反対して尊厳をもって歩む」



タリタクム・インターナショナル
(人身取引に反対する国際ネットワーク)

日本語版翻訳

日本カトリック難民移住移動者委員会
タリタクム日本（人身取引問題に取り組む部会）



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

礼拝式文

<参加者一人ひとりが小さいろうそくをもつ。暗闇と沈黙の中で祈りが始まる。>

はじめの祈り

先唱：兄弟姉妹の皆さん、人身取引の闇から人間の尊厳の光に至るこの旅にご参加くださり、ありがとうございます。神のみ前でともにこの心の旅をはじめましょう。

第9回「世界人身取引に反対する祈りと啓発の日」のテーマは、人身取引に反対し、「尊厳をもって歩む」です。聖バキータの記念日である2月8日には、多くの人が祈りをささげ、「キリストのからだの傷、すべての人のからだの傷」（教皇フランシスコ）への意識を深めています。この日は、奴隷状態から救われた南スーダンの女性であり、今や人身取引の暴力に苦しんでいるすべての人の守護聖人である聖バキータの記念日です。

搾取や人身取引の闇から、人間の尊厳と自由に至る旅は、わたしたち一人ひとりにとって大切な旅です。平和と安全、農地、仕事、良い教育を求めて祖国を後にする何億人もの移住者と同じように、わたしたちも出発します。移住者の兄弟姉妹とともに、すべての民族、あらゆる宗教の信者とともに歩みます。そして、彼らとその弱さのために、搾取と人身取引の闇に簡単にとらわれてしまうことを思いつつ歩みます。

わたしたちは彼らとともに、彼らのために歩みます。だれ一人取り残さず、一人ひとりのために、人間の尊厳の地平に向かいます。尊厳と自由は一筋の道です。それは、人身取引の暴力の被害者とともに歩む、時間のかかる長い旅路です。



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

語り手：尊厳をもって歩む者として、希望の巡礼者として、移住者とともに歩みましょう。老若男女、異なる宗教や文化、世代の人と一緒に歩みましょう。この旅により、わたしたちは神と出会い、自分自身と兄弟姉妹と出会うことができます。心の旅に欠かせない、預言者ミカのこのことばを胸に刻んで歩き始めましょう。「正義を行い、いつくしみを愛し、へりくだって神とともに歩むこと、これである」(6・8)。

<先唱者が話している間、一人がろうそくをともして会衆の前に立つ>

先唱： 希望の光をもって、ともに闇に向かいましょう。これは個人主義を克服する道です。個人主義はわたしたちを孤立させ、自己中心主義に陥らせます。この道は、他者に向けてわたしたちを開け放ち、自分の力に気づかせてくれます。一緒に唱えながら進みましょう。

全員： とともに歩みましょう。

<火のついたろうそくをもった人が先頭に立って、暗い場所から第一留に向かう>



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

第一留「搾取と人身取引という痛ましい状況に陥っている人と会う」



語り手： 私は歩いている。
夜の闇の中を。
闇に包まれ、何も見えない。
私はひとりぼっち。
つまずき、つかまろうとした岩で怪我をしてしまった。
叫び声を聞いた。
私は立ち止まった、もう我慢できない。
疲れてしまった。
私はうずくまり、目をつぶった。
叫び声、寒さ、疲れにどうにもならない。
何よりも、この漆黒の闇に耐えられない。
見知らぬ人に虐待されこの部屋に閉じ込められた囚われの身
人身取引と搾取の鎖にしばられ、ここから出られない。

<沈黙>

先唱： 人身取引の被害者は、性的な搾取、児童婚を強いられています。また、家事労働、農業、歓楽街、鉱山、製造業、建築、漁業など様々な産業において搾取労働を強いられます。臓器売買や物乞い、児童兵のリクルートが行われています。



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

人身取引により搾取、自由のはく奪、力による抑圧、暴力と罰への脅しが行われています。人身取引は人々から尊厳、生活の営み、安全に自由に生きる権利を奪います。

人身取引の被害者の痛みに寄り添いつつ、ともに尊厳をもって歩みましょう。搾取と人身取引の痛みに苦しんでいる兄弟姉妹と出会い、そのことばに耳を傾けましょう。

語り手： 「わたしはラクシムです。貧しい農村に生まれ、幼い頃に家事労働のために近隣の村に無理やり行かされました。実際は数日後に、性的労働を強いられ、隔週であちこち連れ回されたあげく、近隣の村でズタズタな状態で発見されて家に戻りました。地獄のような状態から逃げ出し、何人かのシスターが面倒を見てくれましたが、家に戻ってからも地獄は続きました。わたしはひとりぼっちで見捨てられました。手を胸に当てたまま、話すことも食べることもできず、うつ状態に陥りました。兄弟たちから身体的虐待を受け、何度も殴られていたのです。

翌日、シスターたちが戻ってきて私を風呂に入れましたが、手を胸から外すことができません。からだがおのずと自己防衛しているのでしょう。」

先唱： 何万もの人がラクシムと同じように、虐待と搾取のために苦しんでいます。多くの兄弟姉妹が人身取引の被害者となっています。痛みと苦しみにあえいでいる多くの兄弟姉妹が、心の中で神と会い、神の無条件の愛を受けることができるよう、祈りましょう。ケアと自由に満ちた行いをもって神の愛を示す人に、被害者が出会えるよう祈りましょう。



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

ファタウのために祈りましょう。ファタウは富裕国の大都市の一室に閉じ込められ、毎日、見知らぬ人に虐待されています。

小さなホセのために祈りましょう。ホセは路上で物乞いと盗みをするよう強いられ、一日に一切れのパンしか与えられていません。

メーラのために祈りましょう。メーラは貧しい家族のために、はるか年上の見知らぬ人と結婚させられました。

アディのために祈りましょう。アディは一日 12 時間以上、無賃金で働かされています。

いつくしみ深い神よ、わたしたちの目を開いてください。何千万もの幼い人を搾取と人身取引に引き込む仕組みに気づかせてください。兄弟姉妹の苦しみを見つめ、ともに歩めるよう支えてください。

全員： ともに歩みましょう。

<第二のろうそくが灯される。火がついたろうそくをもった二人を先頭に、沈黙のうちに第二留に進む>



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

第二留「人身取引の被害者と被害経験者、そして 人身取引を無くすために尽力する人の間に橋を架ける」



語り手： あとどのくらい、ここに閉じ込められるのだろう。
どのくらい経っただろう。
これからどれほど続くのだろう。
1分、1日、10日？
時間などどうでもいい。
神に助けを求めて叫ぶ。
突然、心にぬくもりを感じて驚く。
こんなことは今までなかった。
心の闇にほのかな優しい光がともっているようだ。
心の奥底に隠れていた光。
少しずつ光が明るくなっていく。
わたしは立ち上がり、再び歩き始める。
新しい人生を見つけたい。
もう一人じゃない。だれかが一緒に歩いている。
わたしは手を伸ばし、手を取り合う。
黙って歩く。もう見捨てられたとは思わない。
だれかがわたしの手をとる。
わたしたちはお互いのためにここにいる。
一歩、一歩、ともに前に進んでいく。



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

先唱： わたしたちは皆、地上の巡礼者です。
思いやりをもち尊厳を尊重する行い、橋を築き対話の道を切り開く行いをだれもが促すことができます。
あなたも、人身取引の被害者、移住者、避難民、無国籍者、極貧にあえぐ女性、少女、男性や子どもに手を差し伸べる手になることができます。
よりよい生活を夢見る若者と共に歩く足となります。
人々に希望をささやく声になることができます。
無私無欲の行いは、人間の尊厳の道のりの一歩となります。
エマオの弟子と復活したイエスの出会いをつづつみことばを聞きましょう。
イエスは、わたしたちの心を燃え立たせ、新しい人生へと導いておられます。
心の奥底で語りかけておられる聖霊を受け入れましょう。

朗読： (ルカによる福音書 24・13-35)

ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。話し合い論じ合っていると、イエスご自身が近づいてきて、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目はさえぎられていて、イエスだとは分からなかった。

イエスは「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在していながら、この数日そこで起こったことを、あなただけはご存じなかったのですか。」イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力ある預言者でし



た。それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓に行きましたが、遺体を見つけずに戻ってきました。そして、天使たちが現れ、「イエスは生きておられる」と告げたと言うのです。仲間の者が何人か墓に行ってみたのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。

そこでイエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの行ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、ご自分について書かれていることを説明された。

一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊りください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈り唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。二人も、道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した。



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

<沈黙、音楽を流してもよい>

先唱：ともに歩みましょう。神はわたしたちとともに、わたしたち人類とともに歩いておられます。エマオの弟子のように求めましょう。「一緒にお泊りください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから。平和、連帯、ケアの光でわたしたちを温めてください」と。あなたの心は燃えていたでしょうか。小グループに分かれて、人間の尊厳を尊重するために不可欠なことは何か、語り合きましょう。

語り手：虐待、搾取、人身取引に直面している人が立ち上がり、逃れる勇気と力をもてるよう祈ります。

全員：ともに歩みましょう。

語り手：人身取引業者の心に神が触れてくださり、彼らが深く回心して、生き方を変えるよう祈ります。

全員：ともに歩みましょう。

<第三のろうそくがともされる。火がついたろうそくを持った三人を先頭にして、第三留に向かう>



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

第三留「普遍的な兄弟愛と、社会における友愛に向けた出会い」



- 語り手： わたしたちは歩いている。
同じ道を歩き、同じ旅の仲間だ。
傷、疑い、恐れを一つにし、
希望、信仰、喜びを携えて、
互いに励まし合い、夜を徹してともに進む。
同じ目標を目指して、地平線に向かう。
わたしたちは人間の尊厳のうちに結ばれた一つのからだな
のだ。
- 先唱： わたしたちは皆、この地の巡礼者です。ともに歩み、他の人
と出会いながら、人類全体の家族の愛のきずなを結びましょ
う。尊厳をもって歩む道のりには、4つの重要な象徴がありま
す。
- 語り手： 難民、移住移動者にとって、靴は谷や山を越えて旅を続ける
ために欠かせません。その靴は信仰の象徴です。生きていく
ためには、浮き沈みも、喜びも苦しみも通って進まなければ
なりません。絶望と闇の中で立ち往生しないでください。死
の闇の中でも旅を続けるために、信仰を与えてくださるよう
神に願いましょう。



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

全員： 路上で問題が起きてても信仰をもって前進できるよう、導いてください。

語り手： 移住者と巡礼者にとって杖は、大変なときに頼れる友のようなものです。杖は交わりのシンボルです。わたしたちは決してひとりではありません。神がいつも一緒に歩いておられます。神はだれも道に迷わないよう、道を指し示し、わたしたちの足取りに寄り添ってくださいます。旅人の仲間の方へと導いてくださいます。わたしたちがそれぞれの人を旅の仲間と認め、その人の尊厳を尊重することができるよう、神に願いましょ。世界の指導者の心が動かされ、強制移住の場合にも、より安全に人々が移動できるよう、願いましょ。

全員： わたしたちがよい仲間となり、だれも置き去りにしないよう導いてください。

語り手： 移住者と難民にとって光は、道を明るくし、正しい方向に歩ませしてくれるものです。ぬくもりと安らぎも与えます。光は喜びの象徴です。喜びは、仲間と分かち合っはじめて満たされます。笑い声と幸せは、神を源とする心の喜びの表れです。心の壁をくずし、あふれる喜びを味わうことを阻む傷をいやしてくださるよう神に願いましょ。法的身分に関係なく、移住労働者、特に女性、少女への求人と雇用が労働市場で公正に行われるよう願いましょ。

全員： 喜びをはぐくみ、互いに分かち合えるようお導きください。

語り手： 移住者と難民にとって水は、力と元気を取り戻すのに欠かせないものです。水はいのちと希望の象徴です。水がなければ



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

だれも生きられません。満たされた人生とは、友愛に満ちた社会を築くために自分の力を生かし、尊厳をもって生きる人生です。心を開き、友愛のきずなを結ぶために、考え、活動できるよう、神が導いてくださいますように。移住プロセスや受入国における虐待、暴力、搾取を浮き彫りにする啓発活動を行う勇気を、神が与えてくださいますように。

全員： あらゆる行いにおいて、いのちと尊厳を高められるよう導いてください。

語り手： これらの象徴は、友愛に満ちた世界、人類家族を築くために欠かせない要素です。友愛に満ちた世界では、だれも置き去りにされず、忘れられず、搾取されず、人身取引されることもありません。だれもが声を聞いてもらい、活躍する場もっています。ともに祈りをささげましょう。

全員： 天におられるわたしたちの父よ。み名が聖とされますように。み国が来ますように。み心が天に行われる通り、地にも行われますように。わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください。アーメン。

先唱： 希望とあわれみをもって、出会いの文化を築きましょう。出会いの文化は、一人ひとりの権利を守る、より包括的な社会に向けて回心をもたらします。ともに歩みましょう。

全員： とともに歩みましょう。

<4番目のろうそくがともされる。火のついたろうそくを持った4人を先頭に進む>



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

第四留「人間の尊厳（自分と各人）を認識する」

〔写真の代わりに、白い布か紙を使う。「人身取引との闘いにおいて、人間の尊厳をどのように認識しますか」という質問への答えを各自で紙（ポストイット）に書いて貼る。〕

語り手： わたしたちは歩いている。
一歩、一歩、前に進む。
一つのからだとして、人間の尊厳のうちに結ばれている。
夜明けの光が闇を消し去り、
わたしたちは新しい一日を見つめる。
地平線に太陽が昇る。

語り手： 太陽が昇ります。わたしたち一人ひとりには、認められ、尊重されるべき尊厳が与えられています。人は自由で、尊重され、暴力を受けず、差別されず、生きるのに必要なものを与えられるとき、尊厳をもちます。それは、ともに生きる尊厳であり、分かち合い、微笑み合う喜び、同じ地平に向けて進む喜びです。

先唱： ファタウ、ホセ、メーラ、アディのような人身取引の被害者がいやしの新たな道を歩むことができるよう祈ります。その道は、彼らが人間家族の一員として尊厳ある人生を生きられるようにする道です。自由と尊厳を求める何万もの人の日々の歩み、ケアと受け入れと励ましの日々の歩みに気づくことができる心をもって、ともに歩き続けましょう。

全員： とともに歩き続けましょう。

先唱： わたしたちの巡礼は、いのちを、そして人間の尊厳に向けて



International Day of Prayer and
Awareness Against Human Trafficking
A light against Trafficking

とともに歩み続けることを受け入れます。この集いを終えるにあたり、ともに祈りましょう。

全員： あらゆる人の尊厳を大切にし、高めるために、尊厳をもって日々歩み続けます。
だれも奪うことのできない一人ひとりのたまものを尊重しつつ、自由のために旅を続けます。
人身取引とあらゆる搾取をなくすために歩み続けます。
だれも置き去りにせず、隣人を思いやりながら、兄弟姉妹と一緒に歩みます。
善い行いで協力し合うことによるのみ、わたしたちは自由と尊厳の真の道を切り開くことができます。

先唱： 人身取引の現実への意識を深めつつ、人生の歩みを進めましょう。「正義を行い、いつくしみを愛し、へりくだって神とともに歩むこと、これである」(ミカ 6・8)。人間の尊厳の光を心の中にともし続けましょう。そして、兄弟姉妹の尊厳を縛り付けている鎖をほどきましょう。

全員： アーメン。

<好きな賛歌を歌って閉会する>



日本語版翻訳・制作

日本カトリック難民移住移動者委員会
タリタクム日本(人身取引問題に取り組む部会)

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 Tel 03-5632-4441

E-mail: jcarm@cbcj.catholic.jp

URL: <https://www.jcarm.com>